

## 第66回 東海財界俱楽部例会

# 『因果AI』を活用することで 意思決定時の説得力や納得感を高める

弊社主催の異業種交流会「東海財界俱楽部例会」が10月28日、名古屋市昭和区鶴舞のSTATION Ai（ステーション・エーアイ）で開催された。今回第66回の例会は名南M&A株式会社との合同例会として講師に株式会社hootfolio（フートフォリオ）CEO 笠原健太氏を迎えて、「因果AIが意思決定を加速する～データに潜む因果関係をノーコードで可視化」というテーマで講演。

冒頭でSTATION Aiの佐橋CEOの挨拶の後、名南M&AスタッフによるSTATION Aiの施設見学会も実施された。



株式会社hootfolio 笠原健太 CEO

### 祝1周年 STATION Ai

まずSTATION Ai株式会社 代表取締役社長



兼CEO佐橋宏隆氏から挨拶があった。

「昨年2024年10月31日にオープンして今週末で1周年」を迎える事や「現在、会員が600社、共

業したい事業者が400社となり活動事例がどんどん増えている」ことを報告。また「1990年代に起きた情報革命ではインターネット企業（Google、facebookなど）が世界を牽引していたが、現在はそれよりも大きなAI革命が起きていて、これからはAIカンパニーがリードする」という世界情勢の中、「製造業、精密機器にAIが実装されることが世界最大の産業となることが予想される。それは製造業の集積地である愛知が盛り上がることに繋がり、この地域の大企業だけではなく、中堅、中小企業がAIを導入して生産性を上げ、新たな製造業を創っていくことがSTATION Aiのミッションであり、みなさんといっしょに支え合って行きたい」と今後の抱負を語った。

その後、スタッフによるSTATION Ai内施設の見学会が行われた。

1・2階には3Dプリンターや測定器などが常設。2階には『あいち創業館』がある。ここは愛知県にゆかりのある革新的な事業を興した起業家の業績やエピソードを映像やデジタル技術

を活用し、愛知の産業のルーツや、企業家たちの挑戦を学ぶことができる施設となっていたが、あいにく時間外だったため中は見学できなかった。4～5階はオフィスフロアやラウンジがあり契約会員のワーキングスペースや勉強会などが行えるオープンスペースが配置されている。6階はオフィス（会議室）。また7階には会員問わず利用できる宿泊施設やフィットネススペース、バーなども完備。同フロアの交流リビングからデッキに出るとすっかり秋となった冷気に身震いするほどであったが、思いがけず美しい夜景の眺めに感動。

### 名南M&A、地域のスタートアップ企業に投資

メイン講演の前に今例会の合同主催社、名南M&A株式会社の事業戦略本部 事業戦略部 キャピタリスト伊藤将規氏から会社概要として名南M&Aの取り組み、自社の実績などの説明があった。



名南M&A 株式会社  
キャピタリスト 伊藤将規氏

名南M&Aでは「この地域のスタートアップ起業に投資し貢献（2022年から累計23社に投資）」しながら「地域の事業者、財界の皆様と連携してスタートアップを支援、相乗効果を生む、そんなことに取り組みたい」と述べた。

### 講演テーマ”因果AI”

株式会社hootfolioの笠原健太CEOはNECでエンジニアに従事していたときに「NEC X」というシリコンバレーの拠点で”因果AI”

という技術に出会う。その後、事業開発とプロダクトオーナーを経て、NECからカーブアウト（※編注）して現会社を創業。今講演では”因果AI”とそれを活用した『意思決定』の事例をスクリーンに映し出しながら講演。

”因果AI”は最近よく耳にする生成AIとは違う分野で、「データの中の因果関係を分析するAIを搭載した、コーワル・アナリシス (causal analysis) というサービスを提供する」もので「これまで複雑なデータ解析を数週間から数ヶ月かけていたものを、自ら操作して1分で可視化することができるようになった」という。また「可視化した図面によって『効果的な方針』が把握でき、アイデア出しに集中できるため『意思決定時』の説得力や納得感を高めた提案ができる」という。さらに「”因果AI”が提示する因果関係を把握し、『眞の要因を特定』することで次の効果的なアクションへ導くことができる」とその役割の重要性を伝え講演を終えた。



株式会社 hootfolio 篠原 CEO 講演会の様子

黎親會



駐名古屋大韓民国總領事館  
金星秀總領事

場所を移動して懇親会会場へ。会場は鶴舞公園内の「FOODLAB.358 鶴舞 PARK」。

駐名古屋大韓民国総領事館金星秀総領事による乾杯の音頭が執り行われた。金総領事は総領事館での3年の任期を終えまもなく帰国

(※編注:カーブアウト=企業が自社の一部を切り出し、新会社として独立させる経営手法。新規事業を独立させて意思決定を迅速化することが目的)



(*Journal of Health Politics, Policy and Law*, 1993)

\\右南 M&A 休

左方 5 練に

東業戦略本部 東業戦略

経営管理部 広報担当

## 經營管理部 課長

事業戦略本部 医療支援部 M&A アドバイザー 廣 喜輔

第四章

伊藤惣相

江城佑善

長繩紳子